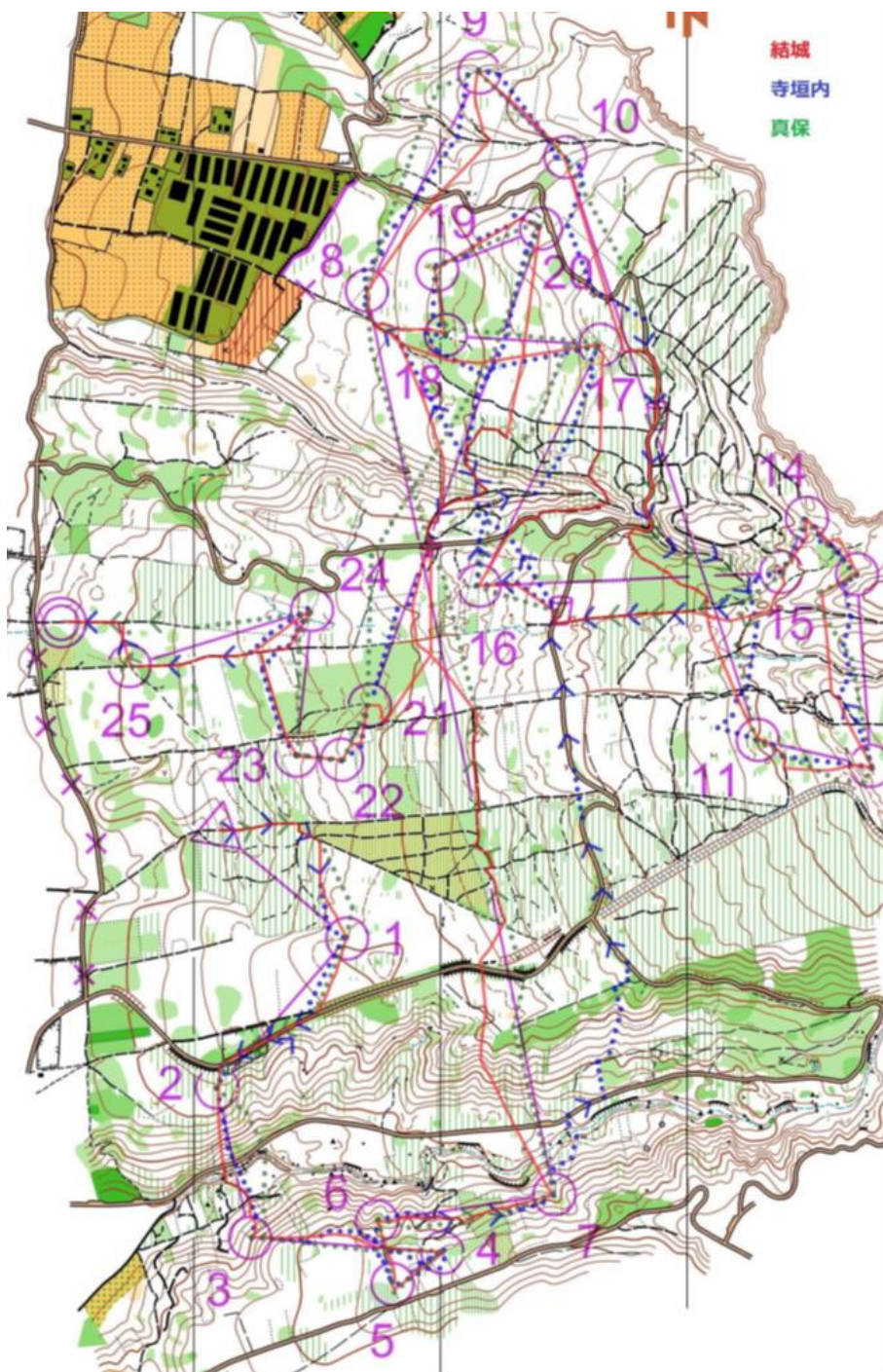


炎天下の赤城

伊東瑠実子

第36回東大OLK大会 2014年6月1日 群馬県渋川市



- W50A 植松裕子 入間市 OLC
- W43A 丸山由美子 みつけ OLC
- W35A 宮本知江子 京葉 OLC
- W20A 宮本和奏 京葉 OLC
- W12 丸山里那子 みつけ OLC
- WF 長谷川真子 東北大 OLC
- M21A1 田邊拓也 養鶏 OLC
- M21A2 太田裕士 京大 OLC
- MAS 杉村俊輔 東北大 OLC
- MASS 淵上貴弘 OLC31 期
- M70A 鈴木榮一 千葉 OLC
- M60A 小林二郎 入間市 LC
- M50A 杉本光正 ES 関東 C
- M43A 上條 圭 方向音痴会
- M35A 飯野雅人 横浜 OLC
- M20A 橋 孝祐 KOLC
- M18A 池田匠 学芸大附属高
- M15 長澤徳英 麻布中
- MF 久野元嗣 千葉大 OLC
- WF 長谷川真子 東北大 OLC
- BL 岡本真嗣 富士見市
- BS 岡野 諭 杏友会
- N 高村陽子 上尾 OLC
- G 中村美香
- MNLL 伊藤裕太
- WNLL 服部早苗

- 北東 Ms 宮西優太郎 東北大 OLC
- 北東 Ws 松田沙也加 岩手大 OLC
- 北信越 Ms 山本遼平 新潟大 OC
- 北信越 Ws 五味あずさ 金大 OLC

6月の定番大会

毎年6月に当団体が運営する東大OLK大会。全国から集まる数多くのオリエンティアの参加に支えられて毎年開催を続け、今年で36回目を迎えることができた。今大会のトレイン「赤城」は大部分に広がる緩斜面、見通しの良い森林などスピードを出したオリエンテeringを楽しめるトレインとなっている。

雪の中の調査

OLK大会は学生が現地に宿泊して地図調査を行うのが通例となっている。その地図調査は今年度、雪に悩まされた。今年2月の大雪は関東を中心に大きな被害をもたらし、例年ほとんど積雪の見られない渋川市でも1mの雪が積もった。

このため、2月実施予定だった調査は中止となり、3月の調査時点でもトレイン内はほとんどが雪に覆われ、調査の進行に大きな影響を与えた。今大会地図の副題は『白の轍』であったが、これはAヤブの広がる赤城の地図を表現

ME クラス上位者のルート図

2014年6月1日 群馬県渋川市
第36回東大OLK大会

各クラス優勝者

ME 結果

- 1 結城克哉 1:21:32 トーラス
- 2 寺垣内航 1:22:32 京葉 OLC
- 3 真保陽一 1:22:53 B&B

WE 結果

- 1 加納尚子 1:21:01 朱雀 OK
- 2 守屋舞香 1:24:08 椋山女学園
- 3 渡辺円香 1:31:49 ES 関東 C

各クラス優勝者

- W21A 砂田莉紗 KOLC
- WAS 西脇博子 入間市 OLC
- W60A 山本陽子 ES 関東 C

すると共に、雪の中調査を行った学生が残す足跡を表したものである。



残雪の残る3月の赤城遠景

大会当日

東大 OLK は五町田での第34回大会が熊出没によって競技不成立となった苦い経験がある。

今大会は調査期間中から地元の方から熊に関する情報が寄せられていたため、参加者の方々へ熊鈴の持参を呼びかけるなどの対策を講じ、何としても参加者と熊との遭遇を避けようと心がけた。幸い大会当日は熊が出没することなく、無事に大会を終了させることができた。

また熊対策もさることながら、熱中症への注意も必要となった。大会当日の渋川市の気温が平年よりかなり高くなることが予想されたため、給水地点を多めに設置した。大会アンケートにおいて給水への評価が高く、参加者に満足していただけただようである。

一方、青空会場については多くの意見が寄せられた。前回赤城で開催した2009年のOLK大会では、赤城総合運動自然公園を会場として使用させていただいたが、今回はトレインとの近さを重視し、トレインに隣接する赤城自然園の駐車場を使用したため、青空会場となった。青空会場では雨による影響が懸念されたが、逆に当日は曇り一つない晴天となった。会場には日陰がほとんどなかったため「暑い」という意見を多くいただいた。

OLK大会の参加者は例年700人ほどで、これだけの人数を収容できる会場は限られてくる。このため、参加者全員に満足していただけると言うような会場選びが難しいという現状がある。



快晴下の会場の様子

予想通り、大会当日は6月としては高い気温となり体力的な負荷が大きいレースとなった。ただ、後半部には爽快なダウンヒルのレッグも含まれており、きついレースながらも楽しんでいただけたのではないかと思います。

レース結果として、MEは結城選手、WEは加納選手が優勝をおさめ、WOC日本代表の強さを見せつけた。



今大会からの取り組み

今大会ではオリエンテーリングを幅広い人に知っていただくことを目的として、トレイルランナー向けのクラスMNLL, WNLLの新設、また過去大会では作られていた初心者、家族などのグループを対象としたN, Gクラスの開設を行った。Gクラスを中心に新クラスにも多くの方に参加していただき、嬉しいかぎりである。

6月は大学サークルの新歓期と重なり、新入生にとってOLK大会が初めて参加する外部大会となる可能性が高い。今後も東大OLK大会が多くの人にとってのオリエンテーリングへの窓口となることを願ってやまない。

(伊東瑠実子)